

## リサイクルフォーラム開催報告<要旨>

### 「古紙—大量リサイクル時代の課題と展望」

古紙の大量リサイクル時代を迎え、グローバル化したマーケットの現状をふまえ、持続可能なリサイクルシステムをつくるにはどうしたらよいかをメインテーマにしたパネルディスカッションを開催しました。本号ではフォーラムの要旨をご報告します。

#### <パネリスト発言要旨>

#### ■膨らむ古紙マーケットとそのリスク (栗原氏)

国内古紙の回収量は平成12年から年間500万t増えているのに対して、国内製紙メーカーによる古紙の使用量は100万tの伸びにとどまっている。この差400万t分は中国への輸出で需給バランスを保っている。問題は2つ。古紙の国内価格に対して輸出は約3割高といった内外価格差が生じ障害が出ていること。もう1つは、全回収量の3%でも輸出が滞れば97年当時の古紙大余剰問題再燃のリスクがある。

#### ■まず一紙の無駄づかいを止めよう (紺野氏)

日本人1人当たりの年間紙の使用量は246kgが多すぎる。世界と比較すればイギリス・イタリアは20%も少ないのだ。例えばトイレットペーパーの幅の世界標準は10cmだが、日本は11.4cm。日本が世界標準にするだけで、紙の使用量は12万t減らせる。大量の古紙をいかに回すかも大事だが、その前に紙の発生抑制策の点検が必要。



■日時：平成19年2月3日(土)午後1時～3時  
 ■場所：明星大学日野校26号館(東京都日野市)  
 パネリスト：鈴木節夫((財)古紙再生促進センター専務理事)  
 栗原正雄(全国製紙原料商工組合連合会理事長)  
 紺野武郎(日本再生資源事業協同組合連合会会長)  
 坂巻真砂子(清瀬ごみともだち)  
 司会：中村正子(環境ジャーナリスト・当協会理事)

#### ■古紙の利用率向上と品質管理が課題 (鈴木氏)

古紙の利用率を2010年までに62%にする目標がある。現状は60.6%。あと数%のようだが、簡単ではない。家庭系の雑がみと事業系古紙など、これまで使えないと思われてきた古紙を使う研究と、品質管理が課題となる。古紙のジャパンブランド確立をめざす。



#### ■リサイクルを考えた紙製品の作り方をすべき (坂巻氏)

古紙リサイクルの勉強会で、匂いつきの紙や缶ビールのマルチパックなど、「禁忌品」にもリサイクルマークがつけられている現状を知り、疑問を抱いた。製紙メーカーは製造段階での環境配慮だけでなく、消費者に渡った後のリサイクルにまで目を向けた製品作りをすべき。

#### <ディスカッションのようす>

中国への輸出見通しや新規需要の動向、メーカーによる製品づくりの視点や分別しやすくするための配慮、発生抑制の必要性などについて、フロアの来場者を交えて、消費者・行政・回収業者などさまざまな立場から、活発な情報・意見交換が交わされました。



詳しくはホームページ

<http://www.purple.dti.ne.jp/torikyokai/>  
 からご覧ください。



## ～循環型社会を担う一員として、廃棄物の有効利用、適正処理に日々取り組んでいます～



東京を資源循環型都市とすること、それが私たち東廃協の目標です。

私たち東廃協は、主に東京二十三区の廃棄物収集、運搬、処理を事業とする202社で構成されている組織で、昭和50年に設立されました。

私たちを取り巻く事業環境は、昨今、大きく変化しています。平成12年に「循環型社会形成推進基本法」が制定され、社会全体が循環を基調とする経済、社会システムの実現を目指して活動しています。この法律の基本理念である3つの「3R」。即ち、第一にリデュース（廃棄物の発生抑制）、第二にリユース（使用済みの製品の再利用）、第三にリサイクル（原材料として再生利用）を基幹として循環型社会を構築しようとするものです。

東廃協では、このような時代の変化を的確に把握し、組合の能力を向上させて組織力を高め、対行政、対関係団体へ積極的にアプローチし、より適合していくことを念願に、廃棄物事業、リサイクル事業の長年の経験とノウハウを活用して時代の波に乗り、組合の事業拡大、発展を目指しております。



### さまざまな東廃協の活動

3つのRがポイント  
第1にReduce 発生抑制  
第2にReuse 再利用  
第3にRecycle 再生利用

東廃協では、3Rをポイントにしなが  
ら様々な活動を推進しています。

### 廃棄物の収集、運搬、処理の活動

事業系一般廃棄物については、東京二十三区のご指導、管理のもと排出される廃棄物の収集、運搬、処理に従事しています。

特に、早朝回収、休祝日回収など、常に、住環境の美化に注力しています。産業廃棄物については、東京都の管理のもと廃棄される廃棄物の収集、運搬、処理に従事しています。

特に、廃棄物の適正処理に注力し、不法投棄の撲滅に日夜研鑽し、ISO及びエコアクション21認証に取り組んでいます。

### 廃棄物のリサイクル

より住みやすい地球環境を守るため、資源リサイクルは、私達の生活に欠かせないものとなっております。

私たち東廃協は、アルミ缶、スチール缶、ガラスビンの色分けなど再生利用を目的として機械および手作業により、よりよい質の高い選別を行っています。



### 粗大・OA機器・家電の再利用・リサイクル

粗大ゴミの廃棄物の回収から処理、リサイクルまで、お客様が安心して廃棄物の処理を任せられる収集・運搬システムを確立。OA機器の解体分別は、手作業で丁寧に作業します。まだ、使用できるものは再利用、再生利用を心掛け、リサイクルショップへの仲介まで、責任を持って引き受けます。



# 東京廃棄物事業協同組合 (東廃協)

## 古紙のリサイクル

古紙リサイクルセンターでは、新聞雑誌、段ボール、OA紙の選別、圧縮、梱包作業まで行います。機密書類の処理も、完全監視のもとにシュレッダー作業からリサイクルへ。安全で安心な収集・運搬・処理システムを実施しています。



## 特殊廃棄物処理、医療廃棄物処理

東廃協では、特殊廃棄物処理や医療廃棄物処理等の適正処理も行っています。電子工業、自動車、航空機をはじめ、身近な製品に使用されているメッキ・シアン等を無公害で処理することが可能です。私たちは、日本の環境を守るため、日夜努力しています。



## つねに進歩し続けるために

東廃協では、業務に欠かせない法律知識や実務知識の向上を目指し、講習会、見学会、組合員相互の交流を図る各種イベントを開催しております。

## ✕ 中村正子のエコ点描 ✕

### 交流することがいかに大事か

2月3日、緑豊かな丘陵地にある明星大学を会場に、古紙をめぐる関係者が一同に会したパネルディスカッションが行われた。今回は行政パネリストの参加がなく、課題は「地域での古紙循環システムづくり」よりも、「リサイクルを考えた紙づくりの重要性」や「市民が分別しやすい古紙分類のあり方」など具体的な事例が中心になった。また、リサイクルよりも優先すべき「発生抑制」についても話しあえた。

興味深かったのは、市民パネリスト『清瀬ごみともだち』坂巻真砂子さんからのマルチパックをめぐる報告だ。彼女たちは、2005年6月の古紙リサイクル学習会で混入したら困る「缶ビールのマルチパック」を知ってから1年半にわ



たり、マルチパックの製造メーカー、ビールメーカーなどをめぐり具体的で徹底的な追求を行った。その上での最終的な「ディスプレイ効果や陳列しやすさなど販売側の都合で買われているが、本当に必要なのか？マルチパックを優良古紙というなら、メーカー独自で回収・リサイクルせよ。出して困るものなら、紛らわしいリサイクルマークをつけるな」という消費者としてのまとめに説得力があった。

雑がみなど具体的な古紙分類をめぐる熱心な質疑応答などもあって、古紙リサイクルをめぐる関係者が一同に会し交流することの重要性・必要性が再確認できたと思う。東リ協会には、現場から行政や消費者に常に情報を発信し続ける役割もまた担ってほしい。



# 東京廃棄物事業協同組合



(略称：東廃協) 理事長 渡邊省吾

## 東京を 資源循環都市へ!

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目34番14号山崎ビル5階  
電話 (03)3232-6249 FAX(03)3232-7004  
URL <http://www.touhaikyo.or.jp>  
E-mail [jimu@touhaikyo.or.jp](mailto:jimu@touhaikyo.or.jp)

## 継承、 そして...誕生。

最高機能パッケージ  
**G-PX**  
タウンパック

生活環境創造企業  
**ShinMaywa**

### 新明和が創造する圧縮式塵芥車の未来形

圧縮式塵芥車では販売実績No.1の  
新明和タウンパック。

その性能、機能、信頼性のDNAを注ぎ込んだ、  
次世代型圧縮式塵芥車が遂に誕生。  
スマートなボデーと流れるような美しいフォルム、  
さらには使いやすさを極めた新機能を満載。  
圧縮式塵芥車の未来形として、  
新しく生まれ変わりました。

2-3トン積載  
**DEBUT**



**新明和工業株式会社**  
<http://www.shinmaywa.co.jp>

特装車営業本部・環境車両営業部  
〒110-8620 東京都台東区東上野5-16-5(新明和上野ビル)  
☎(03)3842-6131 FAX(03)3842-6339

札幌 ☎(011)641-0511 仙台 ☎(022)232-4241 さいたま ☎(048)651-9741  
東京 ☎(03)3842-6120 名古屋 ☎(052)231-5191 大阪 ☎(06)4807-5530  
広島 ☎(082)285-1171 高松 ☎(087)841-4161 福岡 ☎(092)411-5455

富士テック株式会社は、株式会社 **フジテックス** に社名を変更しました。

よりよい製品を提供します

# FUJITEX

小型RPFユニット

## DYZZER

『世界的な原油高を背景としてRPF(固形燃料)の  
需要が高まっています。  
廃棄物として処理していたプラスチック類、紙類を  
RPF(固形燃料)にします。  
RPFは製紙会社のボイラーなどで利用されます。  
事業計画・RPF販路もご相談下さい。』

環境製品

環境機器

環境プラント

今後もあらゆる環境機器・製品・プラントを  
選りすぐってお客様へご提供します。  
今後とも宜しくお願い申し上げます。

## ☎0120-81-2166

## 株式会社フジテックス

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-25-30本社ビル 東京・大阪・名古屋・札幌・福岡  
創業1978年 資本金3億円 <http://www.fjtex.co.jp> TEL.03-3207-5521 (代表)

[官公需適格組合]

[地域に根ざしたリサイクルパートナー]

## 東多摩再資源化事業協同組合

理事長 紺野武郎

〒189-0003 東村山市久米川町1-16-18  
TEL・FAX:042-395-9788  
<http://www.h-recycle.or.jp/>  
E-mail:ri3196@oak.ocn.ne.jp



NIKKO  
Environmental Maintenance

## 日高工業 株式会社

代表取締役 高橋 健

[廃棄物処理業]

〒102-0072 千代田区飯田橋2-12-1  
TEL:03-3261-9731 Fax:03-3263-1066  
<http://www.e-nikko.co.jp/>  
E-mail:info@e-nikko.co.jp

## We ♥ リサイクル 第7号

発行日:2007年2月28日

発行人:畑 俊一 編集人:渡邊省吾

広報委員会:戸部 昇・山岡潤身・高橋 健・信太政光・中村正子・羽賀育子・江尻京子

発行所:(社)東京都リサイクル事業協会

111-0055 東京都台東区三筋2-3-9-701

TEL:03-5833-1030 FAX:03-5833-1040

<http://www.purple.dti.ne.jp/torikyokai/>

印刷所:恵友印刷㈱